

Mini-WAN

国土交通省中部地方整備局
三河港湾事務所発行(No.175)



2022年3月号

三河港湾事務所だより



神野地区津波避難訓練に参加しました



徒歩で避難します

今年で11年目となる東日本大震災が発生した3月11日（金）、毎年開催されている神野地区防災自治会主催の津波避難訓練に参加しました。

訓練の内容は、午前10時に大規模な地震が発生し、11時17分頃に三河湾側に大津波が到達する想定のもと、津波避難ビルに指定されているライフポートとよはしまで歩きながら、避難の際に妨げになるものが無いか確認をしました。

またこの訓練では感染症対策も万全に取り組まれており、マスク着用やアルコール消毒などを行いました。

南海トラフ地震で豊橋市は、最大2.7メートルの津波が想定されています。今後大きな地震、津波が来た時に備えられるよう意識し、身の安全を守れるよう努めて参ります。



津波避難ビルの目印です



屋上避難の体験をする様子

三河港湾事務所ホームページ <http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp/>
三河港湾事務所公式Facebookページ
<https://www.facebook.com/mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp/>



みかわこうわん

三河港湾

検索



国土交通省 中部地方整備局
三河港湾事務所
公式Facebookページ





採用されてからの一年を振り返って



私は今年度の4月に入省し、当事務所企画調整課に配属され、視察対応や地元の行事に参加をするなど、様々な仕事を経験しました。

行事などのイベントごとは2年前から猛威を振るっている新型コロナウイルスによって規模縮小、またはやむを得ず中止ということになってしまったものがありました。

しかし『こんな状況だからこそ賑わいを取戻し盛り上げよう』と感染対策などに取り組みながら各イベントを企画された地元の方々の思いを感じ、私自身、わからないことが多い中「頑張りたい!」と強く思い、参加させていただきました。

また、当事務所で発行をしている広報誌Mini-WANの記事もいくつか担当しました。私は文章を書くのが苦手で、当初は記事を完成させることができるか、とても不安でした。しかし、上司や先輩職員の支えやアドバイスもあり、なんとか形にすることができました。

この一年は港を支える仕事について責任の重さや、やりがいを身をもって感じる事ができました。来年度も知識や経験を蓄え、引き続き全力で従事して参ります。

企画調整課 磯谷



船内で説明をする磯谷



《シリーズ》「三河港eyeQカルタ」紹介【ふ】



◆風の力で電気を作ることを何という？◆
【風力発電（ふうりょくはつでん）】



今回の「三河港eyeQカルタ」紹介では、【ふ】について紹介します！



取り札【ふ】

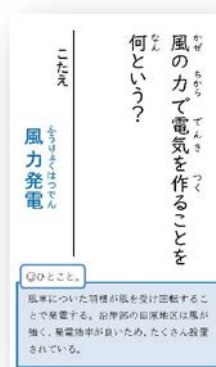
風力発電とは？

環境負荷の少ない発電方法として注目され、ヨーロッパをはじめさまざまな国が導入数を増やしている発電方法です。

風車について羽根が風を受け回転することで発電します。

太陽の出ている時間のみ発電ができる太陽光発電とは異なり、風力発電は、昼夜関係なく風が吹けばいつでも発電が可能です。

沿岸部の田原地区は風が強く、発電効率が良いため、たくさん設置されています。



読み札【ふ】



取り札【ふ】（裏）



当事務所HP内三河港eyeQカルタ専用ページURL
http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp/lib/data_karuta.html

海とみなとの相談窓口



全国共通フリーダイヤル

おおいに よくなれ みなと

0120-497-370

受付時間※ 9:00～12:00と13:00～17:00(土・日・祝祭日を除く)
※一部の地域を除きます。

国土交通省
中部地方整備局



三河港湾事務所
〒441-8075 愛知県豊橋市神野ふ頭町1番地1
TEL 0532-32-3251

衣浦港事務所
〒475-0831 愛知県半田市11号地2番地
TEL 0569-21-3211

<http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp/>